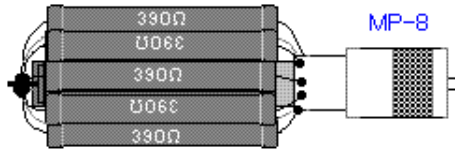


HFから50MHz帯で使用できるDUMMYLOAD、50Ω を作ります  
 5W 390Ωの酸化金属皮膜抵抗 8本を、並列配線して、40Wのダミー抵抗とします  
 コネクタMP-8に、8D-2V/FV/FBなどの同軸を立ち上げて同軸ケーブルのまわりに、390Ω抵抗8本を配置して半田付けします DC~50MHzでVSWR 1.1 以内になりました、良好です

## 構成図



## 部品表

酸化金属皮膜抵抗 390Ω 5W × 8本
同軸コネクタ MP-8(Ni) × 1
同軸 ケーブル 8D-FV × 90mm
絶縁テープ 自己融着 FB-W 少々

## VSWR 特性

周波数 MHz	~30MHz	50MHz	80MHz	100MHz	144MHz
VSWR	1.05 以下	1.08	1.1	1.2	1.3

## 製作例



## 組立後のチェック

半田付けが終わったら、テスタ抵抗計で、MP-8の中心コンタクトと外側ボデー間の抵抗値が50Ω (47~52Ω) になっていれば、完成です

### (注意)

半田付けは、かなりの高温になります、ぬれ雑巾などを用意して、冷ましながら作業してください、やけどなどしないよう十分注意して下さい

### (使用上の注意)

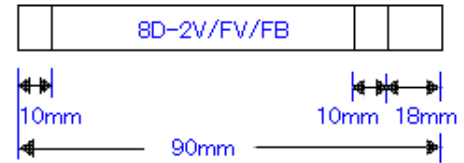
使用中はダミーロードが次第に温度上昇してきます  
 熱くならないよう細心の注意して下さい、  
 ダミーロード抵抗が温かくなったら、直ちに中断して、十分冷却してから、使用して下さい

コネクタの半田付けには、高温の半田ごてが必要です、  
 ICから極太ケーブルまで対応のgootの即熱はんだにて TQ-77が、おすすめ

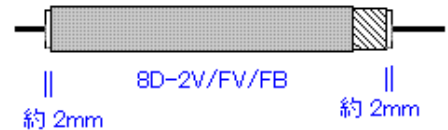
gootの即熱はんだにて TQ-77は、¥3,150円(税込)で大進無線で取り扱います

## 50Ωダミーロード DL40Mの作り方

①8D 同軸100mmの片側は、MP-8に取付け加工します



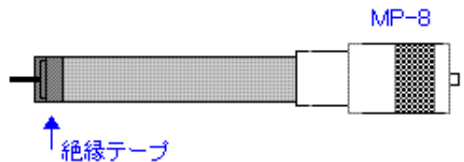
②もう片側は抵抗と接続加工をします  
 芯線を5~8mm出しておきます



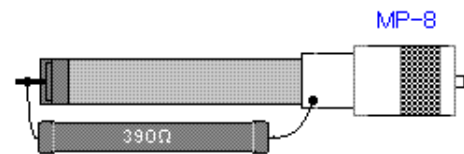
③MP-8プラグを半田付けします



④テープで網線を絶縁しておきます



⑤8本の抵抗を同軸のまわりに配置します  
 同軸の芯線とMP-8のボデーに半田付けします



⑥8本の抵抗を、配置半田付けて完了です

